

区分
道路(市街地)

R6年度完成	事業名：(主) 桐生田沼線 電線共同溝整備事業
--------	-------------------------

所属名	桐生土木事務所
-----	---------

1. 事業概要

- ・本路線は桐生市街地と栃木県田沼市を結ぶ主要な幹線道路であり、1日あたり8,000台以上の交通量がある。一方で、学校や小規模店舗が建ち並び歩行者利用が多いにもかかわらず、歩行空間が確保されていない。
- ・事業区域内は、伝統的建造物群保存地区に指定されており、伝統的な建造物が『映える』景観形成が求められている。
- ・このため、歴史を感じながら歩きたい歩行空間を確保するために、無電柱化の推進を行うものである。



3. 事業目的【ステップ2】

- ①現場から何を見せるのか
 - ・織物のまち「桐生」らしい蔵や町屋、ノコギリ屋根工場など歴史的な建造物を見せる街並み
 - ・それらを楽しみにしてまち歩きをしている人たち
- ②どこから現場自体を見せるのか
 - ・道路利用者(歩行者・自転車・自動車)
- ③目指すべき目標像

「桐生新町重要伝統的建造物群保存地区」の建築物群内を通過する道路として、まちを歩く人が優先と感じられるような周辺に調和した景観を確保するとともに、来訪者がまた訪れたい、住民もまち並みに誇りを持てるような道路を創出する。

2. 現場の特徴【ステップ1】

- ・重要伝統的建造物群保存地区内にある道路。
- ・沿線に小規模店舗が建ち並び、歩道利用者が多い。

4. 専門家の助言の有無【ステップ4】 (有・無)

5. 配慮内容【ステップ3】 <完成(整備前後の写真やコメント等)、計画済・計画中(想定される内容)>

○事業前の様子



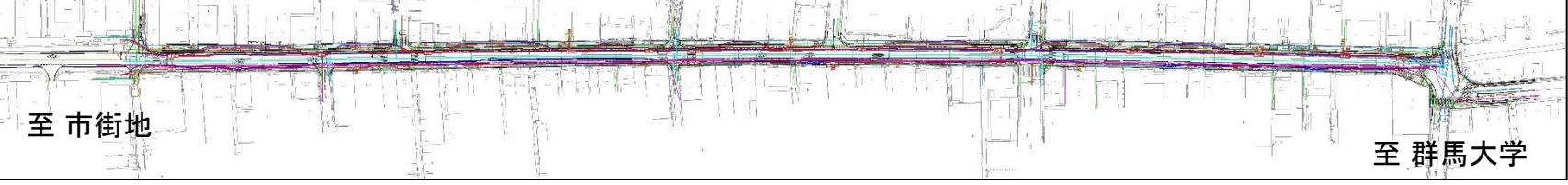
- ・電線や電柱が無造作に道路区域内に設置されている。
- ・道路構成が車優先となっている。
- ・風景に溶け込まない照明や標識が設置されている。

○完成後の様子



- ・歴史的町並みにあわせた舗装とし、車道部と路肩部の舗装色を変えて歩行者区間を強化することで歩きたい「歩行者主体」の空間化を図る。
- ・街並みを見せるため無電柱化する。
- ・地上機を目立たない場所に設置する。
- ・周りに調和した照明を設置する。
- ・標識などは必要最低限にし、設置する場合は周囲の風景との調和を図る。

平面図



横断面図

